

事業番号	043
------	-----

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	観光行事開催委託事業						担当部	地域活性化営業部							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	シティプロモーション課							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	観光交流係							
	総合計画 分野別計画	主目的	5 産業・交流		18 シティプロモーション		2 観光推進体制を強化する									
		副目的	18-3													
	予算区分	款	7		項	1		目	3		大	4		中	1	
	根拠法令・個別計画	愛知県観光振興基本計画														
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	歴史的価値を持つ小牧山を活用した観光事業を委託実施することにより、市民及び来訪者に対し小牧の魅力をアピールし、観光の振興を図る。														
	内容 (手段)	<p>四季折々の小牧山の良さをPRできるような、歴史と文化の調和のとれた観光事業の開催を委託した。委託先:小牧市観光協会</p> <p>◆平成25年度実施内容</p> <p>・春「さくらまつり」 1200本の桜の名所を楽しんでいただけるような桜まつりを開催した。平成25年は、織田信長公小牧山城築城450年記念事業として、あいち戦国姫隊による演舞や、幸若舞の演舞と解説などステージイベントを実施した。 内容: 会場装飾(夜間ライトアップ用の提灯・ぼんぼり、看板等の設置)、戦国茶会、児童写生大会や俳句コンテスト等を実施した。来場者数 82,656人 事業費 8,143千円</p> <p>・秋「お月見まつり」 中秋の名月の小牧山を舞台にしたお月見まつりを開催した。 内容: さくらまつり同様、記念事業として「こまき信長まつり」の一事業として、観月会や月見茶会、小牧山城を築城した年にちなみ1,563杯の月見汁の配布等を実施した。来場者数 125,000人(まつり全体) 事業費3,343千円</p> <p>・冬「初日の出を拝む集い」 小牧山山頂において開催した。 内容: 小牧市歴史館(小牧城)の特別開館・お汁粉や来場記念品の配布等を実施した。来場者数 3,000人 事業費272千円</p> <p>市職員は委託契約事務を行った。</p> <p>◆平成26年度直接経費の内訳 観光行事開催委託料 さくらまつり6,100千円 お月見まつり3,500千円 初日の出を拝む集い430千円</p>														
	受益者負担	無														

			単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額	
	コスト	費用	直接経費		千円	7,945	10,252	11,758
正職員			従事者数	人	0.40	0.30	0.30	0.30
			人件費	千円	2,104	1,578	1,578	1,578
その他職員			従事者数	人	0.28	0.10	0.00	0.00
			人件費	千円	574	204	0	0
費用合計			千円	10,623	12,034	13,336	11,608	
対前年比		%		113.2	110.8	87.0		
財源	一般財源		千円	10,623	12,034	13,336	11,608	
	国・県支出金		千円	0	0	0	0	
	その他財源		千円	0	0	0	0	

業 績	活動指標名		単位	H23	H24	H25	H26
	イベント開催の回数	回	目標	3	3	3	3
			実績	2	3	3	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名		単位	H23	H24	H25	H26
来場者数	人	目標	135,000	135,000	135,000	135,000	
		実績	67,608	67,600	210,656		
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成25年度の実施結果	事業の達成状況	織田信長公小牧山城築城450年記念事業として「さくらまつり」及び「お月見まつり」を開催し、織田信長公と関連付けた内容とし、来場者は平成24年実績を上回った。			
		事業実施における課題	初日の出を拝む集いにおいて、多くの方が山頂に一時に集中することから、警備計画に十分配慮した。来場者の安全確保について無理のない計画と、警備計画を作成する必要がある。			
		事業を縮小・廃止したときの影響	観光の推進は、小牧市の活力創造、まちづくりにつながるものであり、継続的な取り組みが必要である。特に、平成25年に築城450年記念事業への取り組みにより観光まちづくりをスタートさせており、事業を縮小、廃止した場合、せっかく盛り上がった観光まちづくりへの気運が低下してしまう恐れがある。			
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	お月見まつりについては、平成25年に実施した小牧山城築城450年記念事業の成果を継承し、市外からの誘客が図れるよう、全国地域ブランドサミットIN小牧等との同時開催を行う。			
	平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)		
		判定理由	平成26～27年度に今後の小牧市の観光の方向性等を明確にする(仮称)観光基本計画を策定することとしており、その中で観光行事の開催についても位置づけ等が検討される予定であるため。			
		27年度以降の改善案	(仮称)観光基本計画の策定結果を受けて検討する。			

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。 さくらまつり、お月見まつりについては、市として今後のイベントのあり方を検討するイベント検討委員会での検討結果を踏まえ、必要に応じて事業の見直しを行うこと。